



OSAKA CITY UNIVERSITY

2016年度 5期生 ER班 衣笠・鮫島・西尾・吉延

クリティカル・シンキングプレゼン大会

クリティカル・シンキングで新入部員を獲得！
現状分析と解決策を見つけるには



大阪市立大学商学部
宮川研究室

ご注意

本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室の所属学生がゼミ用教材資料として作成したものです。本資料内には、事実ではなく仮説として設定された内容も含まれています。また、本研究室は、内容の正確性および完全性に責任を負うものではありません。これ以外の目的で使用すること、並びに無断で複製することを固くお断りします。

プロローグ

「どうすれば新入生が部活に入ってくれるのだろうか・・・」

三月、新入部員を獲得するためのいわゆる“新歓”に向けて様々な団体が作戦を立て始める中、ある部活が新歓について悩み続けていた

その部活とは

ESS (English Speaking Society) である



ESSとは英語を使って3つの活動を行っている部活

スピーチ

英語で自分の伝えたいことを事前に書いて発表する

お題がだされて即興で文章を作り発表する

ディベート

あるお題の下で賛成、反対に分かれ、英語で議論し、第三者を説得する

ドラマ

英語劇を行う

英語で朗読劇を行う

部員の悩み

せら: ESSって英語も学べるし、論理的な思考力もつくし、雰囲気もいい部活なのにどうして部員が増えないのだろうか…

サメ: 新歓に問題があるのかな？

せら: 去年はビラも配ったし、説明会もしたよ？部員を増やすにはどうしたらいいのだろう

鮫島は思った、
これはクリティカルシンキングが活かせる！

正しい方法で正しいレベルまで考える

- ① イシューを踏まえたうえで「考える枠組み」を考える
 - ② 正しく論理を展開する
 - ③ 構造とメカニズムを把握する
- 状況や思考を整理し、意思決定を促す

今回のケースに当てはめる道筋

◎現状の把握：部員を増やす方法を探る

→MECE・ロジックツリー

◎解決策の提示：ESSはどうすべきか？

→ピラミッドストラクチャー



現状の分析

構成要素に分解

→モレなくダブリなく分ける

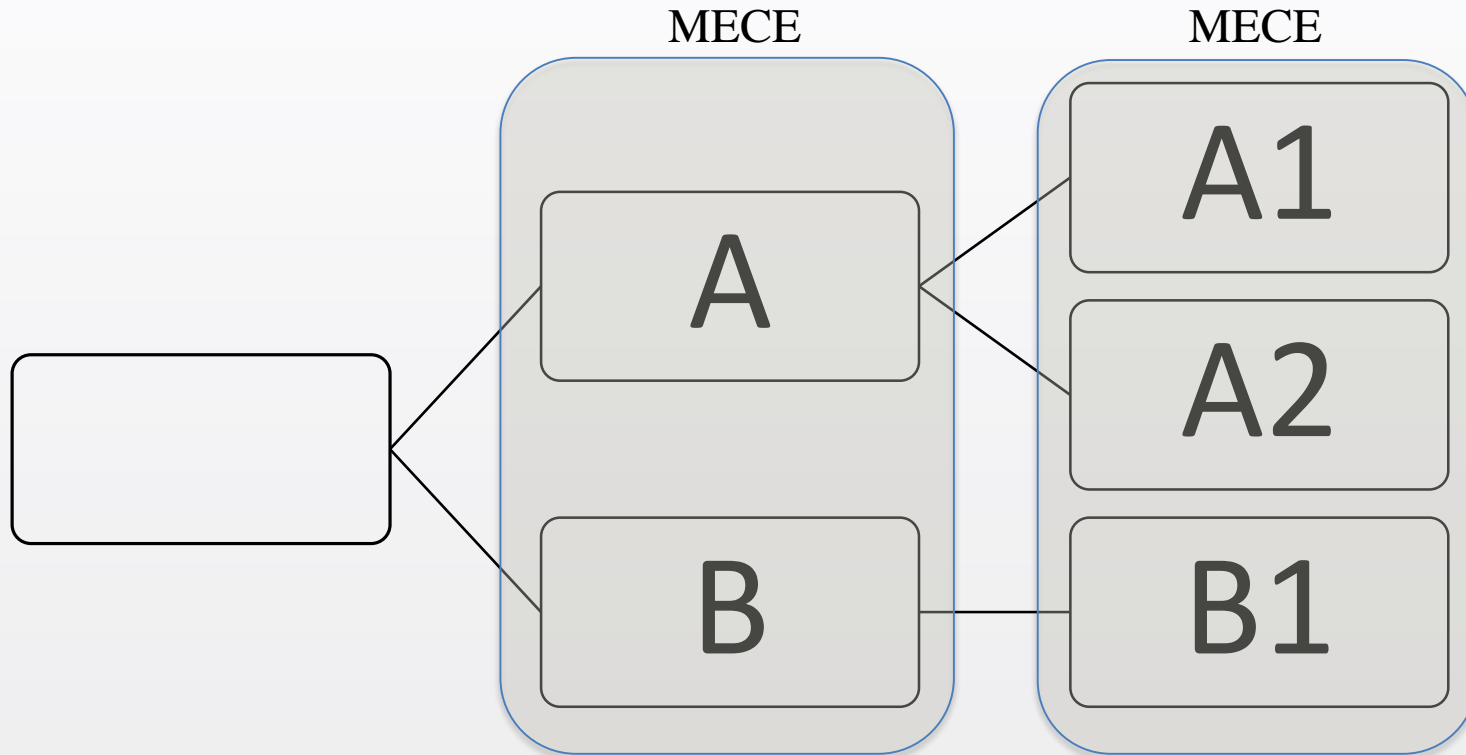
MECE

(Mutually Exclusive, Collectively Exhaustive)



ロジックツリーとは？

MECEの概念を用いた代表的な思考ツール



出所：『グロービスMBAクリティカル・シンキング』ダイヤモンド社(2012)をもとに筆者作成

獲得部員数 = 母体数 × 獲得率

新歓での部員数獲得

新歓に来る母体数

新歓に来てくれた人の獲得率

足を運んでもらう

知らない人に知ってもらう

部の雰囲気

人との関わり

新歓の回数を増やす

SNSやチラシによる広告宣伝

他大学のESS

同期と仲良くなる

先輩と顔見知りになれる



これまでのESS新歓状況

これまでの新歓では

呼び込みに最善の努力
一定数の新生が参加

しかしながら

部員増えず、伸び悩む

では、どうすれば良いのか

?

新入生の入部する確率をあげることが有効

新歓での部員数獲得

新歓に来る母体数

足を運んでもらう

新歓の回数を増やす

知らない人に知ってもらう

SNSやチラシによる広告宣伝

新歓に来てくれた人の獲得率

部の雰囲気

人との関わり

他大学のESS

同期と仲良くなる

先輩と顔見知りになれる

100人/年

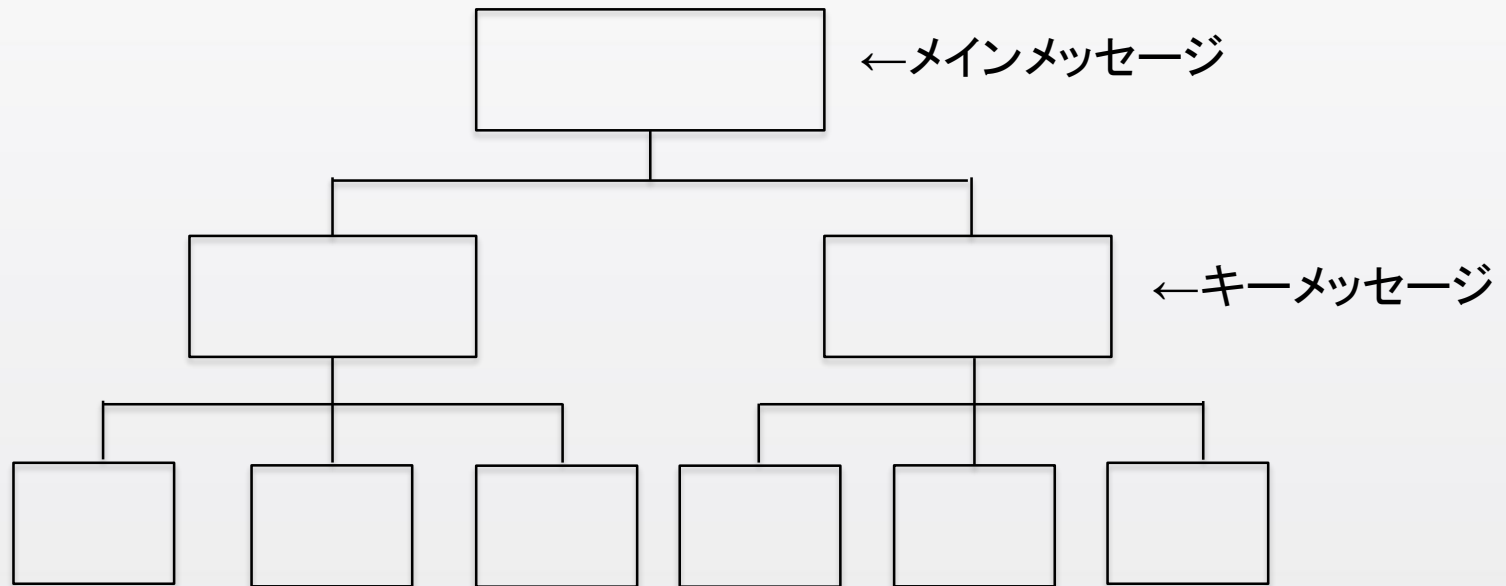
10/100(人)

→ 25/100(人)



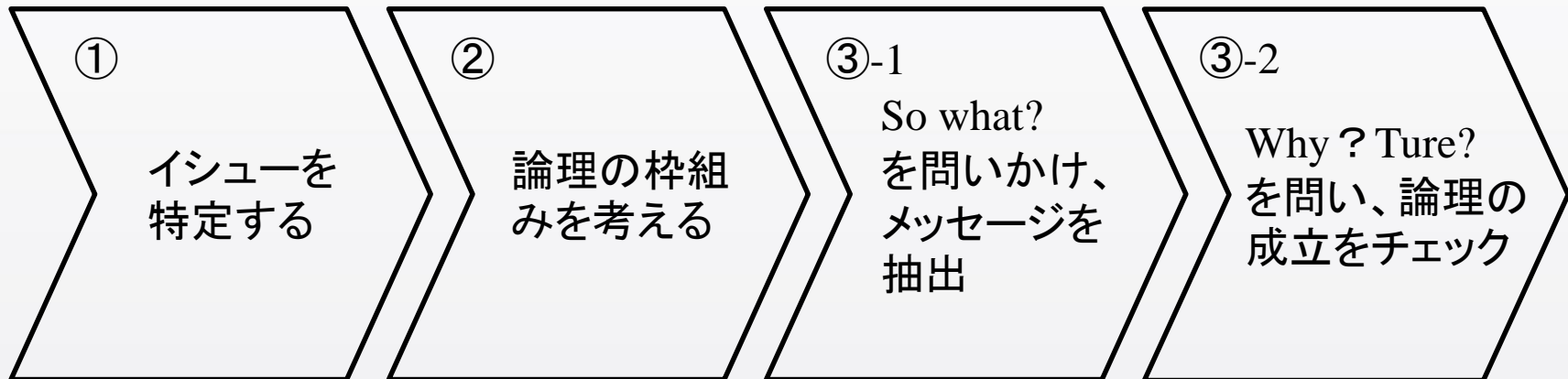
ピラミッド・ストラクチャーとは？

結論のメッセージを頂点に置き、そのメッセージをサポートするメッセージを順次下部に配置していく構造



出所:『グロービスMBAクリティカル・シンキング』ダイヤモンド社(2012)をもとに筆者作成

ピラミッドストラクチャー作成のステップ



出所:『グロービスMBAクリティカル・シンキング』ダイヤモンド社(2012)をもとに筆者作成



入部の確率を上げるには？

イシュー

メインメッセージ

入部の確率を上げるには
どんなことをすべきか？

体験型の新歓にす
べき



入部確率をあげる内容

左記を実現する施策

実現の可能性

部の雰囲気分かり、人間関係が築ける新歓をすべき

体験型の新歓は部の理解が深めることができる

新歓をできる要素が揃っている

部の雰囲気を伝える

人とのかわり

部の経済状況は余裕がある

言葉だけでは伝えきれない良さを感じてもらおう

実際に英語を話す機会を得る

ディベートなどのルールを知る

同期の友達を作れる

先輩と話す機会が増える

ESSの新歓にはある程度
の新入生が参加している

会場は借りることができる



今シーズンの新歓イベントを終えて

3か月後...

せら: 今年の新歓は、体験型を導入したことで、25人の新入生を獲得するという目標を達成することができた。ただ、ここ2, 3か月で、例年より多くの部員が辞めてしまっているね

サメ: せっかく入ってくれたのに、寂しいよ

せら: 何が問題なんだろう

サメ: 入部してからのこともクリティカルに考えてみなくちゃね

